
鬼嫁～湯煙らない殺人鬼～

黒ウサギ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

鬼嫁〜湯煙らない殺人鬼〜

【Nコード】

N9021Z

【作者名】

黒ウサギ

【あらすじ】

かつて、鬼と呼ばれる種族がいた。

頑丈にして屈強。その歯は岩をも砕き、その目は人ならざるものと人を区別できたそうだ。

やがて、鬼は緩やかに滅亡していったが、一部の鬼は人の交わり、その子孫は現代に生きている。

僕は湯治に來ただけなのに、なんでこんなことになっちゃったんだ？

湯の一

かつて、鬼と呼ばれる種族がいた。

頑丈にして屈強。その歯は岩をも砕き、その目は人ならざるものと人を区別できたそうだ。

やがて、鬼は緩やかに滅亡していったが、一部の鬼は人の交わり、その子孫は現代に生きている。

「巫山あゝ。いないのおゝ」

「……………」

息を殺し、埃っぽい小屋の中から外をうかがうと、ボサボサの髪を適当にくくった幼馴染み。犬塚夜知が僕を探していた。

「……巫山。夜知が呼んでる」

僕の隣りで同じように息を殺して夜知を見ている女の子が遠回しに小屋から出ろと言っている。

「いま出るのはマズインじゃないかな?！」

女の子は薄暗がりの小屋では良く見えないが、裸のように見える。

夜知に誤解されたら、いろいろと面倒だ。

そうこうしているうちに、夜知は小屋の戸を開けてしまった。

つまり、裸の女の子と幼馴染みが仲良く座っている小屋を見た。ということだ。

「あっ！ 巫山見つけ！ ……………ええええええ！！！」

ああ、空が青いな。

現実に戻れ戻されたのは、夜知の叫び声を聞いた付近の大人たちが近づいてくる足音が聞こえてからだった。

高校二年生の冬休み。

勉強に励めと言われた僕は何故かこの地に湯治に来ていた。

普段から骨折が三、四日で治る驚異的な生き意地の悪さを持つ僕だったが、たったひとりな幼馴染みから『巫山あゝ、たまにはお正月

を一緒に過ごそうよ。もちろん、お土産付きでね』

という電話があり、丁度コミケのなのはやゆるい激戦区を戦友に託してきた僕としては、人間関係を円滑にするために仕方なく、本当に仕方なく帰郷したというわけだ。

「巫山くんは親父さんそっくりね。特にその寝ぼけた顔とか死んだ魚のような目とか」

そんな、褒め言葉なのか嫌みなのか分からないことを言って、叔母さんは暖かく迎えてくれた。

「夜知。やーちー！ どこにいるのー！ 巫山くんが帰ってきたわよ！」

ドスンドスンと見た目に反して筋肉質な叔母さんは、僕の幼馴染み、犬塚夜知を探しに家の中に入っていった。

「まあまあ、巫山？ 見違えるように弱くなったねえ」

ニシシシと、後ろから女の子の声がする。まあ、見違えるように弱くなったと言う時点で誰かは分かっているのだが。

「飛鷹さん。僕の願いは普通の学校で普通の生活を普通にする事です。多少弱くなるのは当たり前でしょう」

飛鷹さん。彼女はすでに何百年も生きているが、この登場人物は十八歳以上です、みたいな中学生と見紛うような幼さの残る浴衣姿の女性だ。

ちなみに、彼女こそが僕が普通の生活をしたという理由のひとつであり、何度も僕を殺そうとした人でもある。

「巫山。仮にも鬼なんだしさあ。人外の自覚を持ちなよ」

それだけ言うと、飛鷹さんは去っていった。

そう、僕の本名は朱鬼 巫山。

鬼の血を引く人間だ。

ちなみに、犬塚家は鬼の血を引いていない。

昔は朱鬼のお世話をする家だったらしいが、今ではすっかり仲良く漬け物や山菜料理を作る仲だ。

微笑ましい。

そういえば、たしか昔梅干しを作って小屋にしまっておいたんだっけ。

そして、小屋に入った僕は裸の女の子に鉢合わせし、出ようとしたら夜知が来たというわけだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9021z/>

鬼嫁～湯煙らない殺人鬼～

2011年12月28日12時49分発行